



## 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。さて、『スパークス・韓国株ファンド／韓国厳選投資』は、このたび、第1期の決算を行いました。

当ファンドは、主としてスパークス・韓国厳選投資マザーファンドを通じて、韓国の株式に投資し、信託財産の中長期的な成長を目指して積極的な運用を行いました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

### < お問い合わせ先 >

スパークス・アセット・マネジメント株式会社  
東京都港区港南一丁目2番70号 品川シーズンテラス  
リテールBDマーケティング部  
電話：03-6711-9200(代表)  
受付時間：営業日の9時～17時  
ホームページアドレス：<https://www.sparx.co.jp/>

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)を電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、下記の手順でご覧いただけます。なお、書面をご要望の場合は、販売会社までお問い合わせください。

### < 閲覧方法 >

上記URLにアクセス⇒「スパークスの投資信託」より「投資信託一覧」の当ファンドを選択⇒「運用報告書(全体版)」を選択

# 交付運用報告書

## スパークス・ 韓国株ファンド

愛称 **韓国厳選投資** 特化型

追加型投信／海外／株式

第1期(決算日 2019年12月18日)  
作成対象期間(2018年12月21日～2019年12月18日)

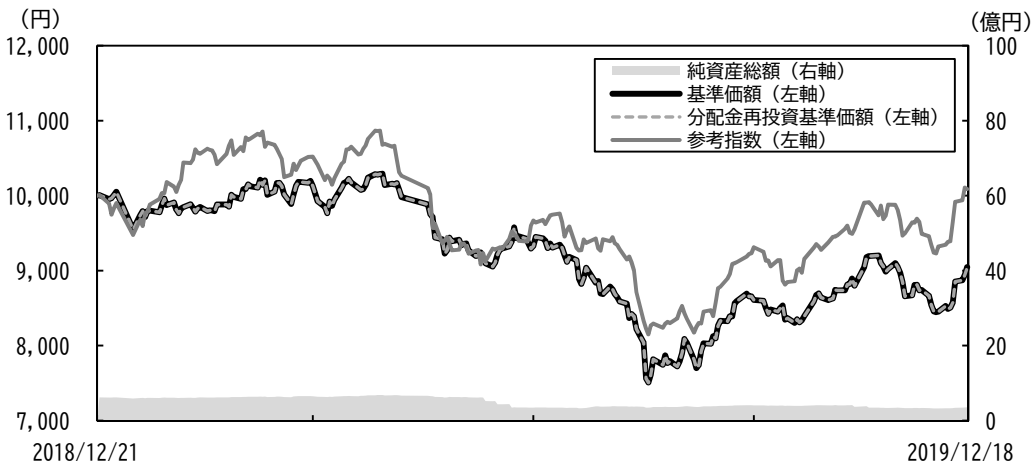
第1期末 (2019年12月18日)	
基準価額	9,046円
純資産総額	351百万円
第1期 (2018年12月21日～2019年12月18日)	
騰落率	△9.5%
分配金合計	0円

(注) 騰落率は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算しています。

## 運用経過

### ■ 基準価額等の推移 (2018年12月21日～2019年12月18日)

基準価額は設定時に比べ△9.5%(分配金再投資ベース)の下落となりました。



設定日 : 10,000円

第1期末 : 9,046円(既払分配金0円)

騰落率 : △9.5%(分配金再投資ベース)

- ※ 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- ※ 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- ※ 当ファンドにベンチマークはありません。参考指数は「KOSPI (韓国総合株価指数) (円ベース)」です。
- ※ 参考指数は設定時の基準価額に合わせて指数化しております。

### ■ 基準価額の主な変動要因

当ファンドは、スパークス・韓国厳選マザーファンドへの投資を通じて、韓国の優良企業に厳選投資を行いました。マザーファンドが投資している銘柄は、上昇した銘柄も下落した銘柄もありましたが、下落した銘柄の影響の方が大きくマイナスに影響しました。また韓国ウォンが円に対して下落したこともマイナスに影響しました。

■ 1万口当たりの費用明細

項 目	第1期 2018年12月21日～2019年12月18日		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬 (投 信 会 社)	166円 ( 91)	1.795% ( 0.984)	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ・ファンドの運用、開示書類等の作成、基準価額の算出等の対価 ・購入後の情報提供、運用報告書等各种書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価 ・ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等の対価
(販 売 会 社)	( 71)	( 0.768)	
(受 託 会 社)	( 4)	( 0.043)	
(b) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	76 ( 73)	0.822 ( 0.790)	(b)売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ・有価証券等を売買する際に発生する費用
(投 資 証 券)	( 3)	( 0.032)	
(c) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式)	18 ( 17)	0.195 ( 0.184)	(c)有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ・有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(投 資 証 券)	( 1)	( 0.011)	
(d) そ の 他 費 用 (保 管 費 用)	35 ( 25)	0.379 ( 0.270)	(d)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 ・海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 ・ファンドの監査人等に対する報酬および費用 ・法定書類等の作成、印刷費用 ・信託事務の処理等に関するその他の諸費用
(監 査 費 用)	( 2)	( 0.022)	
(印 刷 費 用)	( 8)	( 0.087)	
(そ の 他)	( 0)	( 0.000)	
合 計	295	3.191	

期中の平均基準価額は9,246円です。

(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

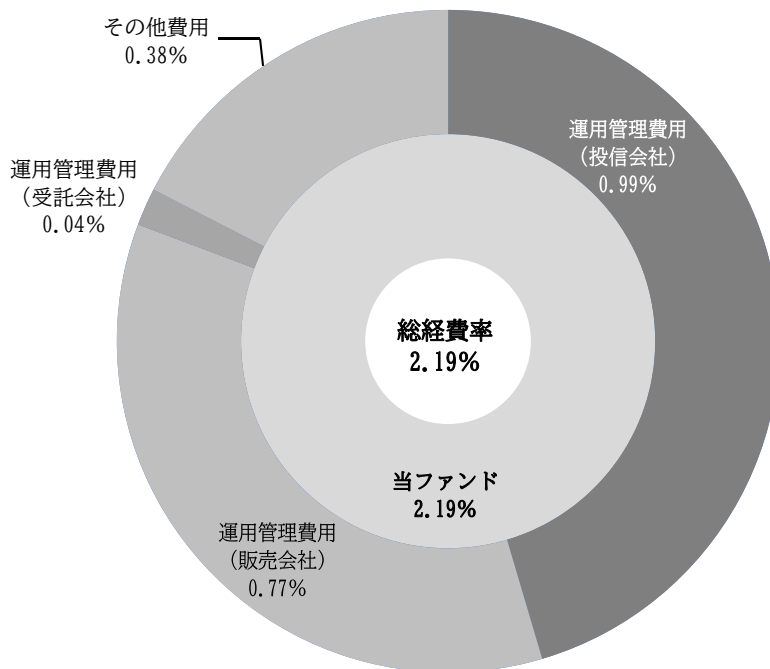
(注2) 各金額は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 各比率は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○ 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.19%です。



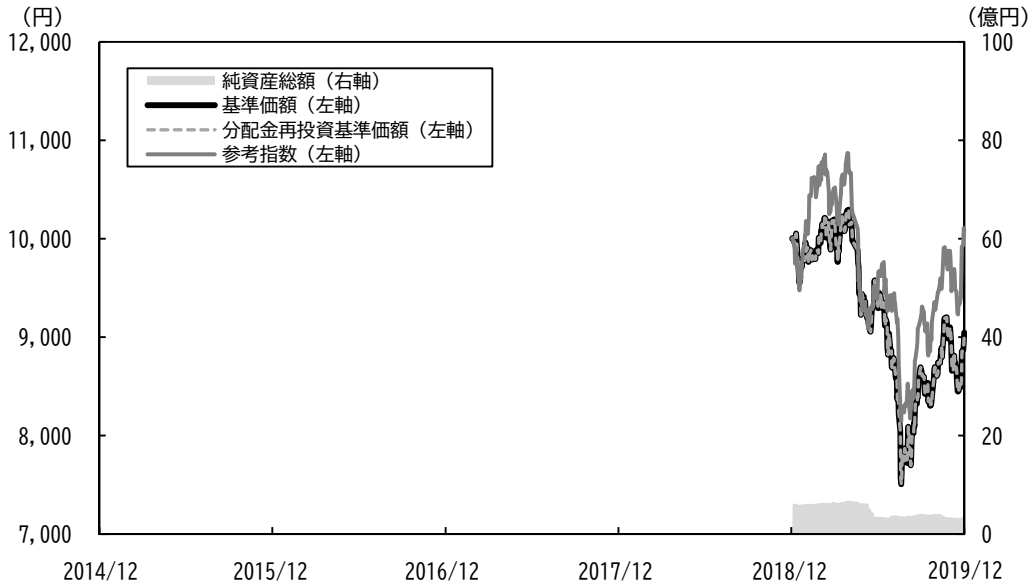
(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

■ 最近5年間の基準価額等の推移 (2014年12月18日～2019年12月18日)



- ※ 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- ※ 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- ※ 参考指数は当ファンドの設定時の基準価額に合わせて指数化しております。

	2018年12月21日 設定日	2019年12月18日 決算日
基準価額 (円)	10,000	9,046
期間分配金合計(税込み) (円)	—	0
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	△ 9.5
参考指数騰落率 (%)	—	0.9
純資産総額 (百万円)	616	351

- ※ 設定日の基準価額は設定当初の投資元本です。
- ※ 参考指数は「KOSPI (韓国総合株価指数) (円ベース)」です。  
参考指数の詳細は、最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

## ■ 投資環境

2019年夏頃にかけて、米中貿易摩擦の長期化に加え、日韓両国の貿易をめぐる対立を受けて、韓国株式市場の環境は悪化しました。しかし、9月以降は、日米両国の貿易協議の進展期待が高まったことや、低調であった韓国株式市場は歴史的に割安であるという認識が広がり上昇しました。

## ■ ポートフォリオ

### <スパークス・韓国株ファンド>

当ファンドは、スパークス・韓国厳選マザーファンド(以下、マザーファンド)への投資を通じて、韓国の株式に投資し、信託財産の中長期的な成長を目指して積極的な運用を行いました。

当期のマザーファンドの組入比率は高水準を維持しました。このため基準価額は、マザーファンドに組み入れられた資産の変動の影響を大きく受けました。

### <スパークス・韓国厳選投資マザーファンド>

ボトムアップ・リサーチによる個別銘柄調査に基づき、企業のビジネスの質や市場の成長性、経営に着目して、将来にわたるキャッシュフローから企業価値を推定し、この価値よりも株価が割安に放置されていると考えられる銘柄に選別して投資を行いました。韓国の構造的変化を捉え、将来の成長機会に対応できる優良な韓国企業に投資することで、信託財産の中長期的な成長を目指して積極的な運用を行いました。

### (主なプラス要因)

ERP(Enterprise Resources Planning、基幹系業務用の統合ソフトウェア)ソリューションの主要プロバイダーのDOUZONE BIZON(ソフトウェア・サービス)は、ERP市場での優位的なポジション、ビッグデータビジネスへ潜在能力を有していること、クラウドベースのビジネスプラットフォーム「WEHAGO」を立ち上げたことなどから上昇しました。

製薬会社のBoryung Pharmaceutical(医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス)は、自社開発の新薬「Kanarb」シリーズの売上高が20%以上増加するなどしたため上昇しました。

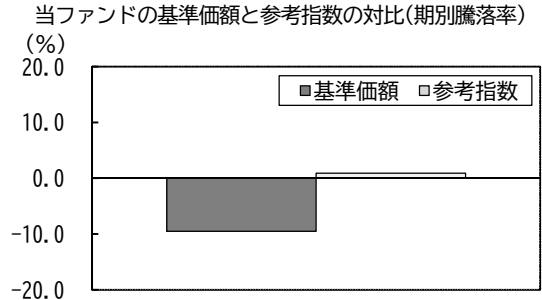
### (主なマイナス要因)

ASIA CEMENT(素材)はハノイで開催された米朝首脳会談が物別れに終わったことなどにより下落しました。しかし、セメント工場はいったん完成すると、その減価償却費を超える潤沢なキャッシュを生成するなど、「現金の生成能力」が高いため、韓国のセメント会社の投資先としての魅力は変わらないと考えています。

韓国の大手ミュージックレーベルであるJYP Entertainment(メディア・娯楽)は、競合企業のYG entertainment社が先日おこしたスキャンダルの余波がエンターテインメントセクター全体に及んだため下落しました。しかし、同社は明確なコーポレートガバナンスの重要性を強調することで投資家の信頼を高めており、韓国エンターテインメント業界の優良銘柄で、今後見込まれるKポップ人気の世界的な高まりから最大の恩恵を受ける立場にあると考えています。

## ■ ベンチマークとの差異

- ※ 当ファンドはベンチマークを設けておりません。  
右記のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率との対比です。
- ※ 参考指数は、「KOSPI(韓国総合株価指数)(円ベース)」です。



第1期  
(2018年12月21日～2019年12月18日)

(注) 基準価額の騰落率は、分配金込みです。

## ■ 分配金

当期の分配金につきましては、基準価額水準および市況動向等を勘案して見送らせていただきました。留保益につきましては、信託財産中に留保し、当ファンドの基本方針及び今後の運用方針に基づき運用させていただきます。

### 〔 分配原資の内訳 〕

(単位：円 1万口当たり・税込み)

項目	第1期 (2018年12月21日～ 2019年12月18日)
当期分配金 (対基準価額比率)	— ( — %)
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	1

- (注1) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金(税込み)に合致しない場合があります。
- (注2) 該当欄に数値がない場合は「—」、小数点以下のみの数値の場合は「0」にて表示します。
- (注3) 当期分配金の「対基準価額比率」は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

## 今後の運用方針

### <スパークス・韓国株ファンド>

スパークス・韓国厳選投資マザーファンド受益証券の組入比率は、引き続き高水準を維持し、信託財産の中長期的な成長を目標に、積極的な運用を行います。

### <スパークス・韓国厳選投資マザーファンド>

引き続き、ボトムアップ・リサーチによる個別銘柄調査に基づき、企業のビジネスの質や市場の成長性、経営に着目して、将来にわたるキャッシュフローから企業価値を推定し、この価値よりも株価が割安に放置されていると考えられる銘柄に選別して投資を行います。韓国の構造的変化を捉え、将来の成長機会に対応できる優良な韓国企業に投資することで、信託財産の中長期的な成長を目指して積極的な運用を行います。

今後とも引き続きご愛顧を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

## お知らせ

2019年9月20日付で下記の通り投資信託約款の変更をいたしました。

- ・ファンドの電子公告のアドレスにつき、弊社ホームページのURL変更 (<https://www.sparx.co.jp/>) に伴い、投資信託約款に所要の変更を行いました。



## 当ファンドの概要

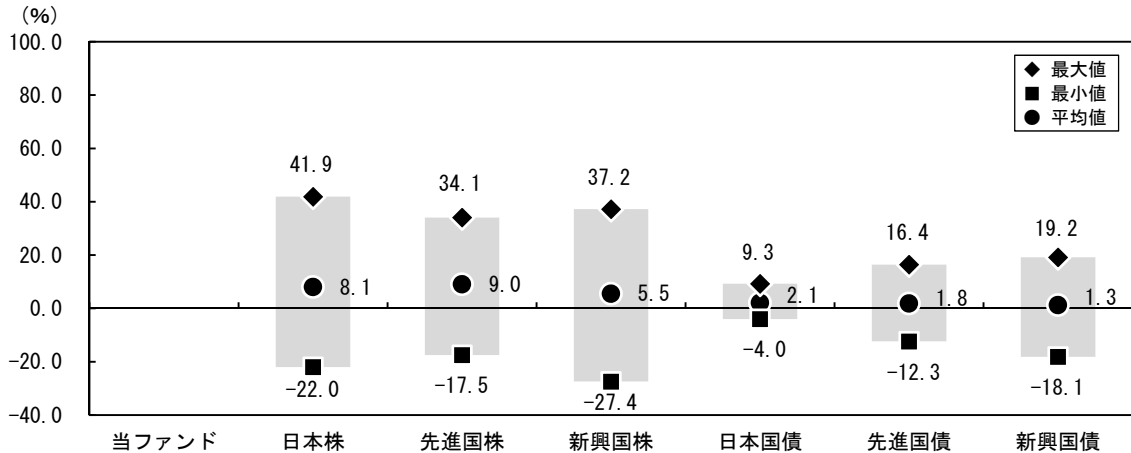
商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	無期限（2018年12月21日設定）	
運用方針	この投資信託は、信託財産の中長期的な成長を目指して、積極的な運用を行うことを基本とします。	
主要投資対象	当ファンド	スパークス・韓国厳選投資マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	スパークス・韓国厳選投資マザーファンド	韓国の金融商品取引所に上場している株式（これに準ずるものを含みます。）を主要投資対象とします。
組入制限	当ファンド	① 株式への実質投資割合には制限を設けません。 ② 外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。
	スパークス・韓国厳選投資マザーファンド	① 株式への投資割合には制限を設けません。 ② 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	<p>毎決算時に、原則として以下の方針に基づき、分配を行います。</p> <p>(1) 分配対象額の範囲 経費控除後の利子・配当収入および売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。</p> <p>(2) 分配対象収益についての分配方針 分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合等には、分配を行わないこともあります。</p> <p>(3) 留保益の運用方針 留保益の運用については、特に制限を設けず、委託会社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。</p>	

※ 当ファンドは、一般社団法人投資信託協会「投資信託等の運用に関する規則 信用リスク集中回避のための投資制限の例外」を適用して特化型運用を行います。そのため、一般のファンドにおいては、一の者に係るエクスポージャーの投資信託財産の純資産総額に対する比率として10%を上限として運用を行うところを、当ファンドにおいては35%を上限として運用を行います。

※ 当ファンドは、ベンチマーク等を意識せず、弊社独自の調査活動を通じて厳選した少数の投資銘柄群に絞り込んで集中投資することとしているため、個別銘柄への投資において、当ファンドの純資産総額に対して実質的に10%を超えて集中投資することが想定されています。そのため、集中投資を行った投資銘柄において経営破綻や経営・財務状況の悪化などが生じた場合には、大きな損失が発生することがあります。

(参考情報)

■ ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較 (2014年12月末～2019年11月末)



(注1) 2014年12月～2019年11月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。なお、当ファンドは2018年12月21日から運用を開始し、2019年11月末現在で設定後1年を経過していないため、該当事項はありません。

(注2) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注3) 当ファンドは税引前の分配金を再投資したものとみなして計算した年間騰落率が記載されており、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

(注4) 上記の騰落率は直近月末から60ヶ月遡った算出結果であり、当ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

※ 各資産クラスの指数

日本株・・・東証株価指数(TOPIX)(配当込み)

先進国株・・・MSCIコクサイ・インデックス(配当込み、円ベース)

新興国株・・・MSCIエマージング・マーケット・インデックス(配当込み、円換算ベース)

日本国債・・・NOMURA-BPI国債

先進国債・・・FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)

新興国債・・・FTSE新興国市場国債インデックス(円ベース)

\* 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

\* 詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

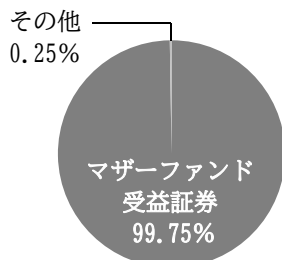
## 当ファンドのデータ

### ■ 組入資産の内容 (2019年12月18日現在)

#### < 組入ファンド >

ファンド名	第1期末
スパークス・韓国厳選投資マザーファンド	99.75%
組入銘柄数	1ファンド

#### < 資産別配分 >



#### < 国別配分 >



#### < 通貨別配分 >



※ 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

※ 組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載されています。

### ■ 純資産等

項目	第1期末 2019年12月18日
純資産総額	351,851,796円
受益権総口数	388,973,727口
1万口当たり基準価額	9,046円

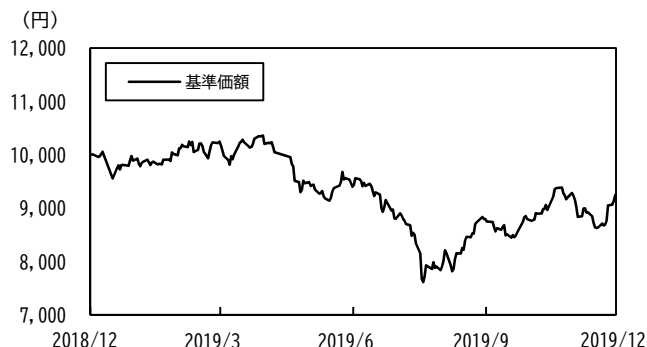
(注) 当期中における追加設定元本額は809,274,874円、同解約元本額は420,301,147円です。

■ 組入上位ファンド（銘柄）の内容

【スパークス・韓国厳選投資マザーファンド】（2019年12月18日現在）

< 基準価額の推移 >

（2018年12月21日～2019年12月18日）



< 1万口当たりの費用明細 >

項 目	第1期 2018年12月21日～ 2019年12月18日	
	金 額	比 率
(a) 売買委託手数料 (株 式) (投 資 証 券)	76円 ( 73) ( 3)	0.814% (0.782) (0.032)
(b) 有価証券取引税 (株 式) (投 資 証 券)	19 ( 18) ( 1)	0.204 (0.193) (0.011)
(c) その他費用 (保 管 費 用) (そ の 他)	26 ( 26) ( 0)	0.278 (0.278) (0.000)
合 計	121	1.296
期中の平均基準価額は9,337円です。		

< 組入上位10銘柄 >

	銘 柄 名	比率(%)
1	DOUZONE BIZON CO.LTD	10.7
2	Boryung Pharmaceutical Co., Ltd.	7.5
3	Leeno Industrial Inc.	6.8
4	T.K. Corp	5.9
5	Kyung Dong Navien Co., Ltd.	5.6
6	JYP Entertainment Corp	5.0
7	Suheung Co. Ltd.	5.0
8	CS Wind Corp.	5.0
9	ASIA CEMENT Co., Ltd.	4.7
10	Enzychem Lifesciences Corp.	3.8
組入銘柄数		24銘柄

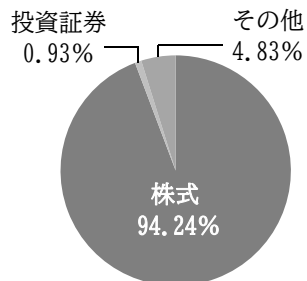
※ 組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載されています。

(注1) 1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のもので、2ページ(1万口当たりの費用明細)の項目の概要および注記をご参照ください。

(注2) 基準価額の推移、組入上位銘柄のデータは2019年12月18日現在のものです。

(注3) 各々の表にある比率は、純資産総額に対する評価額の割合で、それぞれの項目を四捨五入しています。

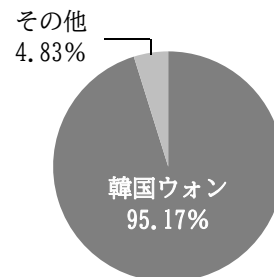
< 資産別配分 >



< 国別配分 >



< 通貨別配分 >



(注1) 資産別・国別・通貨別のデータは2019年12月18日現在のものです。国別配分は、発行国(地域)または投資国(地域)を表示しています。

(注2) 資産別・通貨別配分の比率は、純資産総額に対する評価額の割合で、国別配分比率はポートフォリオ部分に対する評価額の割合です。

## 指数に関して

### < 当ファンドの参考指数について >

KOSPI(韓国総合株価指数)は、韓国証券取引所の全上場銘柄(普通株)からなる時価総額加重平均指数です。

### < 代表的な資産クラスにおける各資産クラスの指数 >

#### 日本株：東証株価指数(TOPIX)(配当込み)

東証株価指数(TOPIX)とは、東京証券取引所第一部上場全銘柄の基準時(1968年1月4日終値)の時価総額を100として、その後の時価総額を指数化したものです。TOPIXは、東京証券取引所の知的財産であり、東京証券取引所はTOPIXの算出もしくは公表の方法の変更、TOPIXの算出もしくは公表の停止またはTOPIXの商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。

#### 先進国株：MSCIコクサイ・インデックス(配当込み、円ベース)

MSCIコクサイ・インデックスは、MSCI Inc. が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。また、MSCIコクサイ・インデックスに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc. に帰属します。

#### 新興国株：MSCIエマージング・マーケット・インデックス(配当込み、円換算ベース)

MSCIエマージング・マーケット・インデックスは、MSCI Inc. が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。また、MSCIエマージング・マーケット・インデックスに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc. に帰属します。

#### 日本国債：NOMURA-BPI国債

NOMURA-BPI国債とは、野村證券株式会社が公表している指数で、NOMURA-BPI国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村證券株式会社およびその許諾者に帰属します。野村證券株式会社は、ファンドの運用成果等に関し、一切責任ありません。

#### 先進国債：FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)

FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

#### 新興国債：FTSE新興国市場国債インデックス(円ベース)

FTSE新興国市場国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

※ 上記指数はファクトセットより取得しています。